

中学校用

＜様式 1＞ 教育課程（B表） （ 2 ）年 氏名（ B ）

生徒の実態表（個別の指導計画の実態からの転記も可）

学校生活全般の生徒の特徴	
<p>気心の知れた友人とは、一緒に活動することができる。 一斉の指示が通りにくく、行動が遅れることが多い。 授業中、学習内容を理解すると課題に取り組もうとするが、分からなかったり取り組んでもうまくできなかつたりすると、途中で諦めてしまうことが多い。 パソコン部での活動は、ほぼ休むことなく参加しているが、自分の思い通りにならないとすねて活動しないことがある。</p>	
教科に関する生徒の特徴	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 国語は、小学校 6 年生までに学習する漢字の読み書きはほぼできるが、画数の多い漢字は細かい部分を正確に書けない。長文の内容を理解することは難しい。 ・ 数学は、筆算で 3 位数の加法・減法は計算できるが、文章問題や図形の学習は苦手である。 ・ 音楽は、歌うことが好きである。リコーダーは苦手、合奏では他の生徒の速さについていけない。 ・ 保健体育は、体を動かすことは好きである。球技では、ルールの理解が難しい。 	
短期目標	支援の手立て
<ul style="list-style-type: none"> ・ ホワイトボードに書いた漢字を見ながら、板書をノートに正確に書き写す。 ・ 教師が注意を促すと、教師に注目しながら話を聞いて友達と一緒に活動を始める。 ・ 分からないときや困ったときは、コミュニケーションカードを見ながら教師に言葉で伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 間違いやすい漢字を教師がホワイトボードに書いて示す。 ・ 体に触れて注意を促し、本生徒が注目してから一斉の指示を出す。 ・ 「分からないので教えてください。」「〇〇で困っています。手伝ってください。」等の例を示したコミュニケーションカードを準備する。分からないときや困ったときに教師に伝えることができた褒める。